

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者：（ 1 組：窪田 ）（ 2 組：窪田 ）（ 3 組：石田 ）（ 4 組：石田 ）（ 5 組：窪田 ）（ 6 組：石田 ）
 使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館） ）
 教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な課題解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
思春期から中高年期までに出会うさまざまな健康問題について学ぶとともに、労働と健康との関係や働く人々の健康が保持増進される仕組み、環境問題や食品に関する健康問題、社会の制度や保健活動について理解する。	健康についての自他や社会の課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	現代社会のなかで自他の健康を保持増進し、それを支える環境づくりなど安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1. 授業方針および授業を受ける際の重要なポイント(特にノートと主体的な授業態度の重要性) 2. ライフステージと健康 ・ライフステージによって健康課題が異なることを理解する。 ・社会からの法的支援があり、利用しよう。 3. 思春期と健康について 思春期の体と心の健康について理解する。	1. オリエンテーション 2. ライフステージと健康について理解する。 社会からの法的支援があり利用できるようにする。 3. 思春期の体と心の健康について、男女の違いを含めて理解する。 思春期の心の問題について自分で解決できないときは、周囲のサポートを求めよう。	1. オリエンテーション内容がノートに記載されているか。 2. 各ライフステージの健康課題について理解しているか。 社会からの法的支援について理解しているか。 3. 思春期の体と心の健康について、男女の違いを含めて理解しているか。	○	○	○	3
4. 性意識と性行動の選択 性意識の男女差、異性の気持ちの尊重、性情報、性行動の選択について理解する。 5. 妊娠・出産と健康 受精・妊娠・出産・産褥期について理解する。 6. 避妊法と人工妊娠中絶 家族計画、避妊法、人工妊娠中絶について理解する。	4. 性意識の男女差、セクハラ、ストーカー行為、デートDV、信頼できる性情報と性行動の選択について理解する。 5. 受精から妊娠、出産、産褥期の健康課題について理解する。 6. 家族計画、避妊法、人工妊娠中絶について意義や注意点について理解する。	4. 性意識の男女差、相手の気持ちの尊重について理解できているか。性情報の正しい選択や責任を持った性行動について理解できているか。 5. 受精、妊娠、出産、産褥期の健康課題について理解できているか。 6. 家族計画の意義、避妊法についての正しい理解、人工妊娠中絶の体にも与える影響について理解しているか。	○	○	○	3
7. 結婚生活と健康 体と心の発達と結婚生活について理解する。 8. 中高年と健康 加齢による心身の変化と高齢者の健康を支える取り組みについて理解する。 9. 働くことと健康 働くことと健康のかかわり、働き方と健康問題の変化について理解する。 10. 労働災害と健康 労働災害とその要因、防止について理解する。	7. 体と心の発達と結婚生活、結婚生活と家族の健康 8. 中高年期における心身の変化、高齢者の健康を支える取り組み 9. 働くことの意義、健康問題、ライフステージごとの課題、働き方の変化、健康問題の変化 10. 労働中の事故、職業病、安全管理、健康管理	7. 結婚生活における心と体の発達について理解しているか。 8. 加齢による心身の変化と高齢者の健康を支える取り組みについて理解しているか。 9. 働くことと健康のかかわり、働き方と健康問題の変化について理解できているか。 10. 労働災害とその要因、防止について理解できているか。	○	○	○	4
1 学期 1 1. 期末考査 1 2. 答案返却、解説	1 から 10 の指導内容の理解	授業の取り組み、ノート提出、考査	○	○	○	2

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 1 3. 健康的な職業生活 1 4. 大気汚染と健康 1 5. 水質汚染、土壌汚染と健康 1 6. 環境と健康にかかわる対策 1 7. ごみの処理と上下水道の整備 1 8. 食品の安全性 	<ul style="list-style-type: none"> 1 3. 職場における健康増進活動、メンタルヘルス対策 ハラスメント対策 1 4. 大気汚染の原因と健康影響、大気にかかわる地球規模の問題 1 5. 水質汚濁とその健康影響、土壌汚染とその健康影響 1 6. 環境汚染の防止とその対策、産業廃棄物の処理と健康 1 7. ごみ処理の現状、安全で良質な水の確保 1 8. 食品の安全性と健康、今日の課題 	<ul style="list-style-type: none"> 1 3. 健康的な職業生活の理解 1 4. 大気汚染と健康についての理解 1 5. 水質汚染、土壌汚染と健康についての理解 1 6. かんきょうと健康にかかわる対策の理解 1 7. ごみの処理と上下水道の整備の理解 1 8. 食品の安全性についての理解 	○	○	○	6
	<ul style="list-style-type: none"> 1 9. 食品衛生にかかわる活動 2 0. 保健サービスとその活用 2 1. 医療サービスとその活用 2 2. 医薬品の制度とその活用 2 3. さまざまな保健活動や社会的対策 2 4. 健康に関する環境づくりと社会参加 	<ul style="list-style-type: none"> 1 9. 食品の安全性の確保と私たちの役割 2 0. 保健行政の役割、保健サービスの活用 2 1. 医療の供給と医療保険 2 2. 医薬品の種類と使用法 2 3. 健康を支える保健活動と社会的対策 2 4. 健康と環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 1 9. 食品衛生にかかわる活動の理解 2 0. 保健サービスとその活用についての理解 医療サービスとその活用についての理解 2 2. 医薬品の制度とその活用についての理解 2 3. さまざまな保健活動や社会的対策についての理解 2 4. 健康に関する環境づくりと社会参加についての理解 	○	○	○	6
	<ul style="list-style-type: none"> 2 5. 期末考査 2 6. テスト返却・解説 	1 3から 2 4 の指導内容の理解	授業の取り組み、ノート提出、考査	○	○	○	2

3 学 期	27. 過去の公害 28. 健康食品 29. 栄養素や食品のブーム	27. 四日市ぜんそく、水俣病、 イタイイタイ病 28. 栄養ドリンク、健康食品と よくある問題点 29. サプリメントの使い方、 フードフェディズムについて	27. 過去の公害の理解 28. 健康食品についての理解 29. 栄養素や食品のブームについての理解	○	○	○	3	
	30. 医療機関のかかわり方 31. 健康政策 32. 学年末考査 33. テスト返却・解説	30. 病院を選ぶ条件 31. ハイリスクアプローチ、ポ ピュレーションアプローチ、ユニ バーサルアプローチ 32. 27から31の指導内容の理解 33.	30. 医療機関のかかわり方についての理解 31. 健康政策についての理解 32. 授業の取り組み、考査、ノート提出	○	○	○	4	
							合計	
								33